ド級編隊
エグゼロス
HXEROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

級編隊
H×EROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

H×EROS

Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE
白雪舞姫
エグゼホワイト

ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。

HXEPINK
桃園百花
エグゼピンク

姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。

HXEYELLOW
星乃雲母
エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。

HXERED
炎城烈人
エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS——。トーキョー支部の紫子と萌萎との勝負に勝った烈人だが、彼を自分のHフレにしたい紫子から手作り弁当を渡されるなどのアタックを受けるようになった。そんな状況を快く思わない雲母だが、彼女には別の深刻な問題も生じていた。幼い頃の自分が幻覚としてちょっかいを出してくるのだ。その幻覚「黒雲母」は雲母と烈人が結ばれるのが最終的な目的ということで…!?

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

叢雨紫子

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

若草萌萎

トーキョー支部隊員。百花とは同じ中学校出身。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents
HXEROS

Hネルギーが欲しいか——?

……誰だ…?
どうなのだ…?
Hネルギーが欲しいか?
そりゃあまあ…
健康的な男子高校生くらいには…
第19話
Hナジー☆モンスター
Hネルギーが欲しいのなら…己の生理現象に従うのだ…
フッ
それだけ…?
ちょっ
待ってくれ…!

はっ!?
パチ
はぁっ…
はぁっ…♡
どうしたのだレット…？
ポーッ
なんだか今日は寝相が激しかったのだ…
勝手に布団に入って来て紛らわしいことすんなっ
ポイッ
ニャー
あ
7:52

だだだっ
ってやべぇ
遅刻っ!
今日朝礼なの
忘れてた!
くっそー 星乃の奴
起こして行ってくれれば
よかったのに…
XEROスーツが
完成してから
数週間――
俺たちは特に
これといった事件も
ないまま平穏な
生活が続いていた
とりあえず
なにか食える
物…
ガパッ
げっ
から
空っ
何も無いっ
仕方ない…
これでも
持っていくか

なんや烈人…今日は早いんやな
ふぁあ～～っ
おっす桃園
ドドドドッ
それじゃあ行ってきまーす！
なんや朝から忙しいやっちゃなぁ…
しし
せや！
そんなことより今日は本部からとっておきの試供品が届いてたんやった
えっと名前は確か…

〝Hナジードリンク〟
飲むとHネルギーの新陳代謝が良くなるって話やったな
一体どんな効果なんや…
ぽかっ
ってあらへん…
誰や勝手に飲んだの〜〜〜っ!

じゃーな
お
あー…腹減った…
やっと帰れる…
すっ
食うか？
…叢雨…さん…!?
おサンキュ
ウー

って
また来たのか…
またとか言うな…！
た…たまたまキセイ蟲退治のついでに寄っただけだし．
もしかして君友達居ないの…？
ムキーッ
とっとと友達くらい居るわ！
まずトーキョー支部の3人だろ それから…えっと…
………
……
Hフレならここに一人な…
なんかごめん…
うるせえっまだ居るわ

ぐびっ
ったく
なーに赤く
なってんだよ
あっ
ん？
なんだこの
ジュース…
変な味
だな…
人から貰っといて
それはないだろ…
烈人も
飲んでみ？
いや
いいって…
いーから
いーから㊋
これ…
飲んだら
間接キス
だよな…
ゴクッ

なーに二人でこそこそしてるのよ?

ゴクッ
ふうっ
別に美味しいじゃない
じゃ 全部やるよ…
ドキドキ
じめぇ…

ビクン
そういや 聞いたけど 星乃キララ
お前まだ エグゼロスに 入ったばっか なんだって？
ビクン
余計な お世話よ…
大体 私だって アナタに負ける つもりは 無いんだから
どうしてもって 言うなら先輩のオレが Hネルギーの指導 してやらないことも ないぜ…？
ビクン
面白ぇ… それじゃあオレと 勝負するか…？
へ？
望む所よ…
ビクン

叢雨はいつも通り
だとしても
どうしたんだ
星乃の奴…
なんかいつもと
キャラが
違うような…
もしかして…
これを
飲んだから
か…？
!?
"エナジー"
じゃなくて
"Hナジー
ドリンク"!?

カラオケの達人
良かった…勝負って何かと思ったけど
カラオケのことか…
んしっ
なんかさっきより症状が悪化してるけど大丈夫か…
ビックン
あー ここのソファー柔らかくてめっちゃ気持ちいいぜー
それにしてもなんだか暑くない…？
俺飲み物取ってくるけど なんかいるか？
オレはコーラで
私アイスティー濃いめー

ビックン
で
勝負って
何なのよ？
アナタに限って
こんなカラオケで
勝負なんて　あり
得ないでしょ…？
ビックン
よく
わかってる
じゃねーか
エグゼロスなら
それらしく
Hネルギーで白黒
つけようじゃん…
コト
実は
H×EROSは
スマホと連動
出来てな
どれだけ
Hネルギーが
溜まったか
表示出来るんだ
一曲ごとに交代で
アイツのHネルギーを
多く溜めた方が勝ち
ってことでどうだ？
ひっく
い…いーわよ
やってやろうじゃ
ない…！
やっちゃえ
わたしー
ヒック

持ってきたぞー
ガチャ
ビクッ
!?
びっくりした?
ぺろん
ぺろん
最近のカラオケってコスプレも充実してるんだな

叢雨はともかく…

星乃まで一体どうなってんだ…!?

ヒック

それよりカラオケなんてもういいからさ…

せっかくの個室なんだからもっと楽しいことしようぜ…?

いや…そんなことより俺は歌いたい曲が…

なによ…私よりもカラオケの方が興味あるってこと…?

ヒック

ひっくん
なぁ…もうちょっとこっち寄れって
あの～出来れば自分でマイク持って欲しいんだけど…
ビクッ
近くね……？
バーカそんなんじゃ全然Hネルギーが溜まらないだろ？
別に構わないけど!?
ほっ…星乃からも何とか言ってくれ…！
ひっくん

すぽっ
ビクッ
そんなに嫌ならこっちのマイク使ってみない…？
こっちも…!?
ぽよっ
大体星乃のセーラー服姿なんて中学の時以来か…？
当時を知ってる分今は余計に破壊力が…
……

ひっく
胸じゃなくても挟めれば同じだろ…?
ホラ歌っていいぞ?
歌えるかッ!!!
85%
ああそっかHネルギー溜めるならもっと別のモン挟んだ方が良かったか?
ちょっ…さっきから何の話してるんだよ…?
ちょっと…それ私のアイディアでしょ!?
91%
も…もしかして今朝の夢で楽してHネルギーを得ようとしたから
そんな俺にバチが当たったんじゃ——

恐るべし
Hナジードリンクの力――
けど…そんなモンに負けてたまるか…!
ひゃうッ!?

びっ
しゃあ
あれ…私今何してたんだっけ…？

あ〜
頭痛い〜

オレに
聞くな…

それに
この格好…
アナタの仕業
じゃないで
しょうね…？

まさかライバル
登場…なんてこと
ないわよね

そろそろ
お時間ですが延長
なさいますか？

も…もう
限界です…

第20話

時間良し

天気良し

服装は…まぁ良し

なんで相手が
桃園なんだ――
第20話
二人のアマノジャク

1日前
学校の近くでキセイ蟲の噂？
せやねん ウチの学校の近くに恋愛祈願の神社があるんやけど
そこにカップルで行くと絶対に別れるって噂になってるんや
ウィン
ウィン
そんなのよくある話じゃんか 某テーマパーク然り
それがキセイ蟲とどう関係があるんだ？

ここからが
おもろい話でな
この神社に
行ったカップルは
100%酷い喧嘩別れ
してるそうなんや
！
それに境内で
巨大な虫を見た
って話も…
なるほど…
それは調べてみる
価値はあるかもな…
それじゃあ
今度の休みに
皆で調べてみるか
それじゃ
アカンねん
？
言ったやろ？
この現象は
デートの時にしか
起きひんって
すっ

ほな
次の休みはよろしくな♪

なんや その微妙な顔は

ん？
いやー ただ気合入ってんなと思ってさ…

ああ これな…
この前 雲母の買い物に付き合った時に一緒に買ったんや

せやけど
やっぱりウチには
こんな格好
似合わへんよな…
そうか…？
いかにもデート
っぽくていいと
思うけど…
ホ…ホンマ
…？
いやー さすが
見る目があるで
やっぱり
烈人を選んで
正解やったたな
!?
落ち着け俺…
そう…
これは任務…
それ以上でも
以下でも
ないんだ…
ぎゅっ

なぁ烈人
この納豆クレープ
めっちゃ美味いで
おいし
納豆
クレープ
新発売
ってめっちゃ
満喫してるし…
おいおい
今日はキセイ蟲
退治じゃなかった
のかよ？
そりゃあ今日 ウチらは
カップルのフリして
神社に行くんやで？
一からシミュレーション
しないとキセイ蟲も
現れんかもしれへんやろ

それに
キセイ蟲倒すにはHネルギーも溜めとかんとな
んまっ
食べないんならウチが食うたろか？
いいって…！
桃園？
!!
！

やっぱり桃園だ！
そんな服着てるから全然わからなかったぜ！
どちらさん？
た…ただのクラスメイトや
なんでよりによってこんな日に…
あっはっは！
お前が制服以外にスカートなんて持ってるなんてな！
お前なんだよその服!?
べっ別にええやろ！
君 桃園の友達？
他校の人は知らないかもしれないけど コイツ学校じゃ全然こんなキャラじゃないんすよ
……

ちょっと
いいか？
アンタ達
一つ勘違いしてる
みたいだけどさ
俺は桃園の
友達じゃなくて
(今日だけ)
この娘の
彼氏だから
へ…？
さ
デートの続き
行こうぜ
せ…せやな

そんなことなら もっと早く 告っとくんだった⁉…！
俺も…
お前らも⁉
はーっ びっくりしたで もう…
不意打ちの恋人宣言は 卑怯やわ…
お前が言ったんだろ？
神社に行くまでは カップルのフリするって
やな！
せやけど 助かったで 烈人
ほら 早く行くぞ

恋愛成就
でここがその神社か…
ずううううん
ザーッ
びびって抱きついてきたりなんてすんなよ？
なんかジメジメしてきたな
何言ってんねんそんなことする訳ないやろ…
気味悪いやろ…？

ギュッ
へ？
きゅっ急になんだよ桃園…!?
ちゃうねん…これは身体が勝手に…！
いったん落ち着け…な？
ぐいっ
ドサッ

烈人の方こそ何してるんや…？
あ…あれ？今俺桃園を引き離そうとしたはずなのに…
ウチも…離れなと思えば思うほど逆に身体を締め付けてまう…
もしかして俺たち…
思考と行動が入れ替わってる…？
なるほど…それならここに来たカップルが喧嘩別れするのも納得や
だけどそれじゃあどうやって抜け出せばいいんだよ…!?
離れようとするほどくっつくってことは逆のことを考えてみればええんやないか…？
……逆のこと…？

想像するんや
烈人…
ウチを抱きとうて
しょうがない
って…

烈人にはああ言ったものの
ウチはウチでなんとかせな…
せやけどなんやろこの感じ—
んっ…♡
烈人には他に好きな人が居ってこれは本心やないってわかってるのに…
カリ
アカン…こんな積極的な烈人前にしたら…
ウチも本気になってまいそうや…

まそんなこともうどうでもええかー
プルプル
はぁっ…
ドキッドキッドキッ
はぁっ…

桃園…
今のって…
や…えっと
その…
そうか…!
キセイ蟲の仕業なら
Hネルギーが溜まれば
無力化出来るのか…!?
せ…
せやな…!
ま…
そういうことに
しといたろ

烈人は手を出さんといてな

今回はウチ一人で十分や

XEROスーツ

解☆禁
!?
キショオオオオォオオオッ

それにしても
色んなタイプの
キセイ蟲も
居るもんやな
ったく…おかげで
せっかくの休日が
台無しだよ…
ぎゅっ
今度は
何だよ…!?
!
うん
別になんとも
あらへんな
んー ただ脈
測っただけやから
気にせんといて
?
ま 今日のことは
雲母には内緒に
しといたるから
安心しいや
……なんで
そこで星乃が
出てくるんだよ…

だって烈人好きなんやろ？雲母のこと
だっ だから それは前にも誤解だって言っただろ!!
そんなに焦らんといても雲母にはまだ言うてへんから安心しいや
それにこの方が…
ウチにだってこうしてドキドキさせて貰える権利があるってもんやからな…
まー どうしても違うって言うんやったら今日一日のコト雲母に話しても構わへんよな？
愛成就
頼むから止めてくれッ!!!

Extra Gallery

番外ギャラリー

第21話
あー
烈人くん？
ザッ
今回は珍しく
君たちにとって
いい知らせが
あってね
ザッ
日頃の君たちの
活躍を労って本部から
一泊二日の海水浴旅行の
プレゼントがあったんだ
チャチャくんと
ルンバくんは
世話しておくから
たまの休みだし
しっかり羽を伸ばして
くるといいよ
それじゃあ明日
また迎えに来るから
それまで皆楽しんで
ありがとな
叔父さん
おおっ!!
だっ

海〜〜〜〜〜〜〜っ！

第21話
肌金海岸海開き

まさか都内にこんな浜辺があったなんてね
肌金海岸…
聞いたことないけどけっこう有名な観光スポットみたい
それに国内初のヌーディストビーチ化計画進行中って書いてある
な…何よそれ…
肌金観光協会
ヌーディストビーチ化計画
それにしてはお客さんは全然居ないみたいですね…
ええやんむしろ貸切みたいで
ガラーン
よしっ！海辺に一番先に着いた人が夕食に一品追加な
乗った
あっ！待てや宙っ烈人！
だっ

はー…もう
子供なんだから
……
うずうず
シートは私が
敷いておくので
星乃さんも行って
きていいですよ
そっそう？
悪いわね
コーラー！
私を置いてく
なーっ！
ぱっ
ふふ…
星乃さんも
素直じゃない
ですねぇ
そうだ…
私も日焼け止め
塗っとかないと…
だぃん…

プカ
あー気持ちいー
私 海ってはじめて…
プカ
!?
せーのっ
ドーン！
ざぱーん
ちょっと何すんのよ!?
あっはっは 海に来たんやったら潮の味くらい知っとかんとな
ん？何かが手に…

きゃああ
ああああ
ああぁっ!

ぺたっ

!

なななな
んなの
ソレ!?

なんだろ…
ナマコかな?

この種類は
初めて見るけど

よくそんな
グロイの
触れるわね…

毒もないし
無害だから
安心して

そ…そう
なの…?

ぴゅるっ
るる
…これのどこが無害なのよ…
べしゃーっ
あれ…？なんか珍しい種類なのかな…
た…助けて下さい〜…
なっ なんだそいつら!?
もぞもぞっ
もぞもぞ

ぷれっ

もー
なんだったのよ
あれ…
あんなんじゃ
海水浴も
出来へんで…
すいませ～ん
せっかく来たのに
全然海で遊べません
でしたね…
ちょっと俺
トイレ行って
くる…
それじゃあ
ロビーで
待ってるで
すみません
お待たせ
しました
パタ
パタ

久方ぶりなお客さんなものでつい支度が遅れてしまって…

いえ…私達の方こそ海水浴から思ったより早く引き上げてしまって

予定より早い時間に来てすみません…

お客さん達もしかして海に行かれたんですか？

はい…

それはさぞかし驚かれたでしょう

なんなんですかあれは…？

お客さんが見たのはおそらく〝テッポウナマコ〟だと思います

テッポウナマコ…？

といっても私らがそう名付けただけですが

今年になってその新種のナマコが大量発生しまして…

退治してもすぐにまた数が増えるわ逆に浜辺の利用客は減る一方で困ってるんです…

お客さん方も申し訳ないのですが今回は海に入るのは諦めてくださいまし

大変なんですね…

なんやせっかくの休みなのに…

コラッ

あ
ちょっ 何でお前らがここにいんだよ!?
二人共落ち着いてくださいっ
そりゃあこっちの台詞よっ!
えっえっどういうこと…!?
あらあら可愛らしい業者さんですこと

ったく お前らは
旅行か何か
知んねーけどな…

オレらが来る
理由なんて
一つしかねーだろ

！

すいません…だっ…男子トイレってわかります？
あぁ それならすぐそこですよ
もじ
もじ
ありがとうございます…っ
へー…人が少ない割に俺らと同い年くらいの人も来てるんだな
あのっ
！

あの…
もしかして君…
炎城烈人くん…？
そ…そう
だけど…
パアッ
僕
ファン
なんです…！
握手して
下さい！
ガシッ
あっ…してから
じゃ言うの
遅いよね…
いや…
別にいいん
だけど…
ぱっ
トイレ
大丈夫？
ああ
そうだった！
ちょっと
失礼します
ガラッ

つたく オレらは仕事だってのにお前らは遊びかよ
せやけど妙な偶然もあるもんやな
もしかしたらこれもおじさんの計画の内だったりして…
ありえる…

♪
あれ おまえ達… なんでここに…
な…なんだよ もう二人とも一緒だったのか
ヤッホー 炎城くん
何？ まだちゃんと説明してなかったの…!?
あぅ… ごめん…
話は聞いたよ 炎城烈人くん
私は銀杏木よな 一応 トーキョー支部のまとめ役ね
こっちのナヨナヨしたのは大河橙馬よ
よろしく…

トーキョー支部が
来てること
知ってたか…？
ひそ
ひそ
私達も今
知ったとこよ…
前に別行動した
二人が迷惑かけた
みたいでごめんね
べ…
別にいい
って…
それじゃあ
全員揃った
ことだし
行こうぜ
サイタマ支部
さんよ
？
ガサー
どうだ？
萌奈

う～ん…潮の匂いで分かり辛いけど近くにキセイ蟲は居なそう…
地元の人の話によるとナマコ駆除の際に数人がキセイ蟲らしき生物を目撃してるみたいですね
しゃーねぇ出てくるまでこいつらを駆除するしかねーか
キセイ蟲って…一体どういうことだ…？
えっとね…
トーキョー支部の調べによるとこの海岸にはキセイ蟲が潜んでて例のナマコで浜辺を使えなくしたとか…
旅館の女将さんの話を聞いたら私達も放っとけなくて手伝うことにしたって訳…
毎度のことながら回りくどい奴らだな…
で駆除って具体的にどうやって…

って何してんのよっ!?

キモ…

何って駆除だけど?

このテッポウナマコは威嚇で潮を吹くけど

一定量以上の水分が無くなると萎んで動かなくなるんだって

そうやってキセイ蟲が怒って出て来た所を退治するって作戦よ

宙も手伝うの…？
ごめんね痛くしないから…
ったくしゃーないなぁ…

ど…どう
します…？
そんなの好きな
人にだけやらせて
おけばいいのよ…
ったく
エグゼロスの
名が聞いて
呆れるぜ
そんな
不真面目な奴らには
お仕置きだぜっ
きゃあああっ
お…俺たちは
向こうで
やってるから…
そだねっ…

ざざーん

はー…ホント大河くんが居てくれて助かったよ…

流石にこの男女比はおかしいもんな

女の子の方が快感が強いっていうのは有名な話だからね

でも皆からこんなに離れて大丈夫かな…？

今もしここでキセイ蟲が出て来たりしたら…

まぁ平気だろ？不本意だけど さっきのでキセイ蟲一体分くらいは溜まったし

……やっぱりすごいな…

あの…

それを見込んで炎城くんにお願いがあるんだ…

僕の師匠になってください！

ん…？

ぎゅっ

叢雨さんと若草さんがよく別行動するのって

……僕の所為かもしれないんだ

………

だから何かHネルギーを
感じるコツとかあれば
教えて欲しいんです!
ずいっ
コツって
言われても…
俺は別に無理矢理
溜めようとしてる
訳じゃないし…
そ…そっか…
ごめんね変な
こと言って…
しゅん
いや…だけど君の
男子として
チームメイトを
守りたいって
気持ちはわかるよ
うん
だから俺も同じ
エグゼロスとして
君に協力したい
ホント!?
ぱあっ

えっ!?
でもそれは
恥ずかしいので…
つれねーなー
男同士なんだから
それくらい
全然平気だろー?
え〜…
ニーッ
だから
その前に
友達として
大河の
Hネル源を教えて
もらわないとな
…じ…
実は…
きゃああああ
ああっ
!?
今のって…
女子たちの
方だっ!
ダッ

んッ…

キッシッシ…
自業自得だゾ
人間ども
私の可愛い
ペットちゃんに
あんな酷いこと
するなんて…
他の海水浴客と
同じように
Hネルギーを
絞り取ってやる
キセイ蟲
ナマ蟲
クソっ…
Hネルギーが
入らねぇ…
人間のHネルギーは
敏感な所ほど溜まり
やすいからね
枯れ果てるまで
どれくらい
もつかなぁ？
チューチュー
雲母っ…自分なら
ちょっとやそっと
吸われたくらいじゃ
何ともないやろ…！
んなこと言ったって…
こんな気持ち悪くちゃ
Hネルギーなんて
感じられないわよっ

大河…
ちょっと
こっち…
ひとまず
俺がキセイ蟲
本体を叩くから
大河は皆の
ナマコを引き剥が
してくれ…！
うん…
わかった
…あれ
変だな
あんな光景見たのに
全然Hネルギーを
感じないなんて——
しーん…
師匠…
後ろっ！
うおッ!?
ぞにぞっ
ちゅ ちゅ

どうやらまだ隠れてる人間が居るみたいだゾ
離れろっこのッ…!
ぼっ
ぼっ
ぼっ
だっ…大丈夫…!?
なんとかな…
けど…Hネルギーをほとんど持ってかれちまった…
これじゃ一発で倒すのは無理そうだ…
だから橙馬…
君が皆を助けるんだ…

ええっ!?
そんなの
無理だって!
それとも俺たち
二人でHネルギー
溜め合うか?
さすがに
無理だろ
それにさっき
言いかけてた
話…
俺は君のHネル源が
どんなものだって
協力したいと思ってる
チームは違えど…
俺たちは
同じ仲間だろ?
師匠…
…そうだよね…
このままいつまでも
隠してちゃ
駄目だよね…

キシシッ
自ら出てくるとはこっちの人間は深いのだな
ザバッ
!
ザザァッ…
…なぁ橙馬…本当に任せて大丈夫なのか…!?
師匠が言ったんでしょ？僕がHネルギーを溜めるしかないって
だからって流石に何も聞かされないってのは――
先に謝っとくね師匠…
ごめん～～っ!!!
ええええええっ!?

……
ドミャアッ

!!
!?
そう…僕のHネル源…それは——

ぞくっ
ぞくっ
第三者視点での…Hネルギー鑑賞
ア…
やっぱり師匠の受け身はすごい・
あんな的確に女体に着地するなんて…
ちょ、ど…
触っーてんのよ
水着がー
実際目にすると映像なんかよりずっと刺激的で…
ぽわぁっ
僕の中からも何か込み上がって…

Hネルギー弾
出ちゃうっ!!!
…噂の…
エ…ゲゼ…
ロ…ス……
…まさか お前達が…
しゅうぅぅぅぅ

きゃあああアアアアッ!!
バチーン
ぐほっ!!!
まさか あの橙馬が キセイ蟲を倒す日が 来るとはなー
サイタマ支部の皆さん 今日は本当に ありがとうございました

せめて何かお礼が出来ればいいんだけど…
よなちゃんは真面目だねぇ
そうだ！お礼に明日トーキョーで遊んで行きませんか？
良ければ私がご案内します
いいんですか…？
ごめん…叢雨さんは来なくても大丈夫だから…
ったく何勝手に話進めてんだよよな
（炎威烈人が来るなら）オレも行くに決まってんだろ！
め…珍しいね…
ねぇ見て…夕日…
！

今日は色々あったけど

この景色が守れたと思えば安いものね

大丈夫 師匠…？
擦り傷とかない？
ゴシ
ゴシ
まぁ
なんとかな…
だけど今日は
ありがとね…
こんな僕の
頼みを聞いて
くれて…
そんなこと
気にすんなよ

でも羨ましいな
この身体…
何かで鍛えてたり
するの？
まぁちょっと
筋トレをな
逆に橙馬はもう少し
肉づき良くした方が
いいんじゃないか？
…なぁ橙馬…
まだ隠してる
ことなんて…
…ないよな…？
な…
ないけど…
いや…なら
いいんだ…

!?
はうっ
ドばっ
あはは…
…ごめんね…
僕他人より乳首が
少し大きいのが
恥ずかしくって…
ま…まぁ
気にスンナ…

!?

もぞ

もぞぞ

きゅうっ

Extra Gallery

番外ギャラリー

第22話

!?
ん…
ゴロン
ふにふに

びっくりした…
そうだった
俺たちは今
トーキョー支部の
人たちと一緒に
旅館に泊まってるんだった
彼は大河橙馬
トーキョー支部唯一の男子らしい…
にしても…寝相悪いなぁ
おーい 橙馬起きてるか？
すーすー

ったく はだけ過ぎだっつーの…
朝やでー おっきしとるか 男子共ー!
目に毒だから直しといてやるか…
ふあ〜〜〜 そんなにデケー声出さなくても聞こえんだろ
ぱあんっ
ん?

まさかそんなに欲求不満やったんか烈人!?
気付かなくてすまへん
ギャ
んだよ それならそう言ってくれれば手伝ってやんのに
はぁッ!?
違えーって…!
ぱ
ぷるん
あ
やっぱり…♡
助けてくれ橙馬っ!
…? おはよう師匠…

第22話
サイタマ×トーキョー

食事処
いやぁ　ありがとうございます
今朝　主人が海岸のナマコが居なくなってるって大騒ぎしてまして
お陰様で助かりました
お礼に朝ご飯はサービスですので
どうぞ召し上がってください
じゃんっ
おおぉ〜〜〜っ！
それで観光って話だけどさ
場所は決まってるのか？
そうですねぇ皆の意見を聞いてからにしようと思いまして
皆さんどこか希望はあるの？

私は何か癒やしがある所がいいかなー
ウチは最新のHEROグッズなんか見れたらええなぁ
私はグルメスポットなんかがある所が嬉しいなーなんて…
そんな都合の良い所なんてあるか…？
！
それじゃあ
……なるほど！確かにそこはぴったりかも
それじゃあ行きますよ皆さん

カラオケ
ざわ
ざわ
秋葉原駅
ざわ

やっぱりHEROたる者トーキョーに来たら この街に来ないとね！
とてもわかる
カ
ざわ
コイン
銀杏木さん…やけにテンション高いけど もしかしてアキバ慣れしてる…？
みたいだね…
……
パタン
ざわ

それじゃあ行こっか
ぞろぞろ
ちょっと待った
まずはどこにするん？
観光とはいえ こんな大所帯でうろうろしてちゃ邪魔だし恥ずかしいだろ？
だから行動班を２つに分けねーか？
確かに…
４：５で分かれよっか
それじゃあH値の高い人から順に好きなチームに入ってくってのはどうだ？
よっしゃ…！
今朝のこともあるし これできっと炎城と同じ班に――

却下
そんなの恥ずかしくて公言なんてしたくないし…
あの…私も恥ずかしいのでジャンケンにしませんか…？
へ？
じゃーんけーん…
銀杏木班
それじゃあ私達がこの3人を案内するからまた後でね
あっ！この店行きたかったんです
くっ…
どうしたの師匠…？
ずーん
若草班
うんこの二人の案内は任せて
なんで萌菱がリーダーやねん…
……

はぁー…
お前の所為で
炎城と別の班に
なっちまっただろ
うるさいわねっ
そもそもアナタが
チーム分けなんて
しようっていうから…
ほら お前だって
内心ミスったって
思ってるじゃねーか
ギクッ
い…一体
何のことと
かしらね…？
いつの間にか
仲良くなったん
やなぁあの二人
…………
おかげで
久しぶりに二人っ
きりで話せるね
ももっち
それは
別に嬉しく
あらへんな

それでウチらはどこ向かってるんや？

ん〜

ももっち達が喜びそうな所

FUKUROU CAFE

か・・・可愛い〜〜！

猫カフェやメイド喫茶もいいけどこういったマニアックな店がこの街の醍醐味なんだよね

まさかトーキョーのど真ん中で本物のフクロウと触れ合えるなんてな（小声）

それにしてもフクロウにもいろんな表情があるんだね

鳴き声も静かで癒やされますね〜

是非写真も撮って下さいね
ただし近付き過ぎたりフラッシュを焚いたりすると彼らもびっくりしちゃうので気をつけてね
はーい
ま帰りに星乃にでも見せてやるか
仲良さそうだね炎城くんと星乃さん
い…いや別にそれ程じゃ…
ん？この子達の話だったんだけど
そういうことね…

聞き違いじゃなければ私はHEROショップに行くって言うから付いて来た訳だけど…
HとRが抜けてるじゃないHが!!!
大体こんな所未成年が入っちゃ駄目でしょ…!
大丈夫だよきらりん

1階はただのジョークグッズ売り場で大人向けは2階からだから
!?
ウィンウィン
せやで 雪母もいざという時の為に買うた方がええんちゃうか？
ちょっ近づけないでよそんな物っ！
ジトー
はっ
私ちょっと外の空気吸ってくる…！
ダッ
あ逃げた

あー…
恥ずかしかった…
ペタペタ
ヴヴヴヴヴッ
ふあぁッ!?
って叢雨ッ…さん…!?
なによそれっ
ぱ
そんな初心でよくエグゼロスなんてやってられるよな
ヴヴヴヴヴヴッ
ななな何事っ…!?

昨日今日の
お前たちを
見た限りじゃ
まだ炎城烈人との
関係は変わって
ねーみたいだな
そ…それが
どうした
のよ…？
ふーん
やっぱりな…
！
さっきの
班分けで気付い
ちったんだけど
お前は自分の
どんな感情よりも
まず恥ずかしさを
優先させるって…
だから一緒に
住んでんのに未だに
Hフレにすら
なってねーんだよ
なっ…！
だから
オレは決めたぜ
星乃雲母…

ずい
炎城烈人を堕としてヤるぜ…
今度こそホンキで
んじゃあオレはちょっとシたいことが出来たんでもう帰るわ
ささっ
それに気ィ抜くなよ？
オレらの他にもアイツのこと狙ってる奴が居るかもしれねーしな
……………

へー
アキハバラって
こんな所も
あるんだな

ひゃあっ!!
どこですか
宙ちゃん!?

姫ちゃん
こっちこっち

僕も
初めて…

師匠
ちょっと僕
トイレ行って
くるね

前みたいに
もう迷わない
ようにな

やめてよ
もー

へぇー…
「VRヒロイン」
そういうのもあるのか…
R体験コ
あなたも体験してみませんか？
VRヒロイン
こういうの興味あるの？炎城くん
！
な…なんだ銀杏木さんか…
これは隣に住む幼馴染に勉強を教えてもらうって設定のVRゲームね
私もやったことあるんだけどすっごいリアルなの
せっかくだしやってみなよ
ずいっ
じゃ…じゃあ少しだけ…

この人が
靉雨さんも一目置く
炎城烈人くんか…
こういうのに
食いつくのは
流石と言った所ね
私も昨日減った分の
Hネルギー補給
したかったし…
ニギャッ
お手並み拝見と
いこうかな…
まさか女子の目の前で
VR美少女ゲームを
やることになるとは…
何が見える？
炎城くん
教室と…
さっきのPOPの
女の子が一人
もうこんな
時間になっ
ちゃったね
大丈夫
みたいだね
ふふ…実はこのゲーム
勉強は建前で女の子と
イチャイチャして
からが本番…
きっと
VRだけじゃ
飽き足らずに――

ふへへ…最近のVRは感触までリアルに伝わってくるんだな
本当にそこに居るみたいだぜ
ちょっ炎熾くん…!?

きゃ〜っ
どうしよう もし本当にそう なっちゃったら…!?
凄いな…まるで本物の女の子が目の前に居るみたいだ…
って何やってんの私——!?
こんなんじゃただの変態だよ…!
はあっ…
はあっ…♡
ほぅ これはこれは…
そう…これが私のHネル源——

学校でも家でも優等生…
そんな生活に嫌気が
差してた頃 エグゼロスに
勧誘された私
だけどそこでも他の
メンバーがアレな分
結局 私がまとめ役…
そわっ
そんな私の
Hネル源は…
ツ♡♡♡
背徳感――♡
どさっ

今変な音したけど…何かあったか？
って銀杏木さん!?
あのッ…これには訳が…
まさかこの人もこんなキャラだったなんて…いやエグゼロスなんだからむしろ当然か——
って納得してる場合じゃないか

い…今のは誰にも言わないで…
この通りだから…！
どの通り!?
……何か勘違いしてない炎城くん…？
別に私にそういう感情は…
その…俺には今他に好きな人が居るから…
そういうことはホント冗談でも止めてくれ…！
はっ

も…もしかしてサイタマじゃメンバー同士でこういうことってやらない…？
当たり前だろ…！
騙されたーっ…！
叢雨さん どこのチームも皆こうしてHネルギー溜めてるって言ってたのに！
な訳無いだろ…
ホントにごめんっ 私 そんなつもりじゃなくてっ…！
もう大体事情はわかったから…！

でも凄いんだね
サイタマ支部って…
まじめっていうか
純真っていうか…
あんなことしなくても
キセイ蟲退治の実力は
トップクラスなんだから
普通の人から
見れば変なのは
トーキョー支部
だよね…
……
俺は別に
変だとは思わ
ないけどな
他人の目を気にして
戦うHEROなんて
いないだろ？

ありがと…
そう言われると
あの恥ずかしさ
にも耐えられ
そう…かな…
君みたいな人に
好かれた子が
少し羨ましいな
もー
探したよ
二人とも!
向こうも もう
遅いから解散
しちゃったって
そうそうっ
悪い悪いっ
すっごい
面白いゲームが
あってさ…

悪いちょっとトイレに行ってくるから先行っててくれ

わかりました

はぐれたら置いてっちゃうよ

何言ってんだよ

そう簡単に迷う訳…

俺も橙馬のことは言えないな…
炎城？
星乃…！
あれ…桃園達はどうしたんだ？
ちょっと人が多くてはぐれちゃって…
俺と同じか…
これはチャンスなのか…？
な…なぁ
…ねぇ

一緒に帰らないか…？

…？

君みたいな人に好かれた子が少し羨ましいな

今度こそホンキで炎城烈人を堕としてヤるぜ

へー可愛いじゃない

だけど私はその隣の子の方が好きかなー

!

あれ…なんかこの子も誰かに似てる気が…

ぱっ

そう そうだ 星乃たちは今日どこ行ったんだ!?

私…!?

と…特に面白い所は無かったかな…

扉が閉まります
ご注意下さい
ほっほら
そろそろ
降りないと
あっ
ごめんなさい…
降りますッ…！
プシューーッ
はー
危なかった…
気付いてくれて
助かったよ…
っ！
…星乃…

髪飾りどうしたんだ…？
…あれ…？ さっき人にぶつかった時に落としちゃったのかな…
でもどうしよう…電車もう行っちゃったし…
ファン
あっ
俺…終点で探してもらえるように駅員さんに話してくる…！
そんなことしなくてもいいのに…
どうせまた同じの買えばいいんだし——

あの髪飾り…
いつから持ってたんだっけ…
毎日つけるくらい大切だったのに…思い出せない…
星乃
駅員さんに聞いたら終点なら少しだけ探す時間くれるってさ
もうこんな時間だし
後は俺が見つけとくから星乃は先に帰っててていいぞ
……

待って
私も一緒に行く
あの髪飾りはとても大切な物だった気がする…
ふーっ
やっと見つけた…

ありがとうございました
いやー見つかって良かったよ…
彼氏からのプレゼントとかだったら大変だからね
そっ…そんなんじゃないです…！
ははは変なこと言ってごめんね
もうこんな時間だし親御さんに連絡しようか？
いやっ…大丈夫です
なるほど
ポテ
こういう時は男がリードするもんだぞ
へ!?

さてと…もう
終電もないし…
どこかでおじさんに
連絡して迎えに
来てもらおっか…
そうだな…
ゴク…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン

ねぇ もしかして 炎城…
この髪飾りの こと…何か 知ってるん じゃない…？
ピクッ
!?

お願い
教えて
ドキッ!

わかったよ…ただし誰にも言うなよ…？
特に桃園には
うん
今更言うのも恥ずかしいんだけど…
その髪飾り…実は俺があげたんだよ
う…嘘…
うーん全然思い出せない…
でもそれとキセイ蟲に何の関係があるのよ…？
そ…それはもしかしたら多分…

……俺のプロポーズのプレゼントだったからだと思う……

Extra Gallery

番外ギャラリー

第23話
二人の雲母
おはよっ れっくん
おっす 星乃
いやー 昨日の夜は 暑かったねー
たっ

ホラ見て
薄着で寝てたら
こんなところ
蚊に刺されちゃった
!?
ぺろん
バッカ！
通学路で
そんなトコ
見せんなよ…！
ぱっ
ふーん…
クスッ
通学路じゃ
なかったら
見せて
いいんだ？
うるせー
ねえ
・・・
どっちだと
思ったの？
知らねー

だけど俺は…

そんな星乃が好きだった

じゃーねー
！
なんなのよ
れっくん…
こんな所に
呼び出すなんて…
それに
この手紙…
ピラッ

これ…本気なの…？
まぁな…
きみに“けっこん”をもうしこむ。
ほうかごたいくかんうらでまってる。ゆうと
ふっふっふ計画通り…
そう…これは“けっこん”という字に見えて
実は“けっとう”と書いてあるのだ！
どーん
へー私のことそんな風に思ってたんだー
結婚と読み間違えた星乃を俺が弄り返すという完璧な作戦
俺は“決闘”って書いたつもりなんだけど何と勘違いしてるんだ？
さぁ…いつものように俺を弄って来い星乃…！

ま…まぁ れっくんが そう言うなら…
だけど… 婚約なら まだしも
私達には ちょっと早い かなーなんて…
あれ…なんだ この空気…
思ってたのと 違うぞ…
あの星乃のことだ これで済む はずがない…
そ…そうだ これ…！
きっと何か 企んでるはず

流石にここまで言えば帰って来るだろ…
今日お前誕生日だろ…？
これやるから…手紙の返事が決まったらつけて欲しい
さあ…本性を見せろ星乃――！
……ありがと
大切にする…
お…俺の負けだ星乃…

…そう…だったのね…
ふふっ ちょっとがっかりした?
うるさい
というか
それのどこがプロポーズなのよ…!?
あ…あれはお前があんな反応したから…!

だけどキセイ蟲に遭遇してからしばらくした後…

それをつけてるのを見て一緒に帰ろうって誘ったら…

は？冗談はその変な苗字だけにしときなさいよ

ガーーン

そ…そんな…

ってこと
は…!!

はっ

今まで ずっと私…
婚約了承済み状態で
炎城と接してた
ってこと…!?

カアアッ

あの時も
あの時も…

恥ずかしすぎて
死にたい――!

何そんなことで焦ってるのよ
今まで もっと恥ずかしい姿見られてきたくせに
全く なんでもっと早く言わなかったのよ…！
それにあの手紙に即OKだなんて…
あんたも意外にチョロいのね
ギクッ
わ…私もなかなか言うようになったじゃない…

ガサッ
!?
なんだ…今の…?
ッ…もしかしてキセイ蟲…!?
スチャッ
まさか…猫か何かだろ…
ね…猫型も居るの…!?
いや キセイ蟲の話じゃなくて…

……
!!!
ばっ
キュゥ!!
ちょーーん

ほっ
…タヌキ…？
なんでこんな
所に…
いや…
アライグマよ
この子
かわいい…
キョロ
キョロ
いい子だから
こっちにおいで
おいっ
危ねーって
ビクッ
あっ!?

あーあ…
逃げちゃったか…
!?
はっ
キャあああああっ
お…俺は何も見てないからっ…
違うの違うの！
さっき言った通りこれは叢雨さんが忘れてったから今度返そうと思って…
ガバッ

け…けどそれなら
若草さんに頼めば
よかったんじゃ…？
たしかに
まぁ…でも
いいんじゃ
ないか？
星乃もやっと
HEROとしての
自覚が出てきたって
ことで…
ぽかぽか
勝手に納得
すんな
コラ――ッ！
ゴス
いてッ…
じょ…冗談
だって…
……
ゴスッ
ゴス
そんな本気に
なったら――

ぺちっ
!?!?!?
だっ…だから言っただろ…!
ぱっ
ほら…上着貸すからこれでも羽織って…

……っ

行ったみたい…
ごっ…
ごめん急に…！
いや…お陰で助かったよ…
ドキ
ドキ
ドキ
…とっさのこととは言えまさか自分からこんなことするなんて…
さっきの炎城の話聞いて動揺してるの私…？
キセイ蟲に襲われた日…もう二度とあんな恥ずかしい思いをしたくなくて男子を遠ざけてきたのに
これじゃあ結局また前と同じ…

だけどもし、キセイ蟲に出逢わなければ私は――
そういえば…
!
あの話だとちゃんとした返事はまだしてなかったみたいよね…
いやっ…別にあれはただの若気の至りだしいいよ今更…!
だけどそれじゃあ私が告白の返事も出来ない甲斐性なしみたいじゃない…?
そ…そうか…?
だからもし…あのキセイ蟲に会う前の私達の関係に戻れたら…
もしキセイ蟲を残らず退治出来たら…

その時は返事してあげる
ただし
とすっ
それまでに他の子にうつつ抜かしたら許さないから…

…あれ…
なんだこれ…
これって
ひょっとすると
もしかして…
待て待て
落ち着け俺…
そんなことって——
!
パッパッ
お待たせ
悪いね
遅くなって
おっと
お邪魔だった
かな？
……
そんなこと
ないから…！
早いとこ帰ろうぜ

この深夜に
田舎の公園で
二人っきり
そんな恰好の
シチュエーション
でも迎えを呼ぶ
なんて二人とも
まだまだ青いなぁ…
これはもう少し
後押しが必要
かもね…

第24話
人類総HERO計画

箱は英語で「box」
キツネは「fox」
6は「six」
じゃあ「アレ」は英語でッ…
音楽室
そ…そんなの…まだ習ってないです先輩…ッ
フッ 相変わらず勉強不足だな…
オマエ
正解は――
すっ
カーブド・ソプラノサクソフォーン
SAX…それは恋の音色

ヒメメ！
ボクも学校というものが見てみたいのだ
流石にそんな学校は無いとは思いますけど…
でもそうですねぇ…
ちょうど今からルンバちゃんの散歩があるので外から覗くだけでしたら
それじゃあ一緒に散歩に行きますか？
いいのだ!?

ルンバちゃんもチャチャちゃんが気に入ってるみたいですしね
♡
…ボクにその趣味はないのだ…
すーっ
やっぱり地球の空気は美味しいのだ
そういえばチャチャちゃんって違う星から来たんでしたっけ？
気に入って貰ったみたいでよかったです
！

モフッ
モフッ
あっ
ルンバちゃん
勝手に行ったら
駄目ですって
待って
くださいー
全く…レットにも
あれくらいの
行動力が
欲しいのだ…
な…
なんなのだ
この匂い…
嗅いでも嗅いでも
止められない…
…こんなの…

こんなのは生まれて初めてなのだ
マタタビ
私立
早乙女学院
高等部
かわいーっ

白雪さんって犬飼ってたんだねー名前はなんて言うの？
私が考えた訳じゃないんですけど
歩くだけで埃を掃除してくれるので皆からは〝ルンバ〟ちゃんって呼ばれてます
あははっ何それーっ
ひやっ!?
もぞっ
ペロペロペロペロ
もーどこ舐めてるのー

ごめんなさい…！
帰ったら ちゃんと
言いつけますからっ
いーよいーよ
動物なんだし
本能ってのが
あるんでしょ
だけどこんな子
だと白雪さんも
大変だね…
はい…
チャチャちゃんも
そろそろ
行きますよ？
って
あれ…？
さっきの
変わった猫
可愛かったねー
！
もしかして
チャチャ
ちゃん…？
校内に
入ってったけど
大丈夫かな…？

……なんなのだ ここは…っ
ほとんどメスの人間しか居ないのだ…
こんなんで人類のエネルギー事情は大丈夫なのだ…っ
ここはボクがなんとかするしか…
ねぇ ちょっと君…
！

迷子かな？
どっかから入ってきちゃった？
お姉さんと職員室行こっか
……
!?
ぱ
ビクン‼

ペタンッ
もう…どこ行っちゃったんですかチャチャちゃん
!
たっ

!!?
だっ 大丈夫ですか皆さんっ!?
あ 白雪さんだ
ホントだ…ちょっと触らせて…
いいよね白雪は…おっぱいおっきくて…
へっ!?
ふにっ

んっ…
じょ…冗談ですよね…!?
今の皆、まるでチャチャちゃんに感化された時みたいな
!
チャチャちゃん!

なんで急にこんなこと…一体どうしちゃったんですか…!?
ヒメメ…
ボクはやっと気付いたのだ…
人類が簡単にキセイ蟲に打ち勝てる方法を…
!?
それこそ
人類総Hネル源計画なのだ!!

な…なんだかチャチャちゃん…
まるで酔っ払ってるみたいなんですけど――!?
にゃははははー
ふらふら
止めてくださいチャチャちゃんっ
そんなのおかしいです!
なぜ止めるのだ?こうした方が効率的で…
なによりココはメスばかりでHネルギーを溜めるには向いていないのだ
邪魔するならボクにも考えがあるのだ…
すっ

!?
千夜ちゃん
……!?
舞姫…私
なんか身体が
おかしいんだ…
だけど…きっと
あんたならこれを
止めてくれるはず…
っ!?

チャチャちゃんの言いたいことはよくわかります…
だけど人間は効率とか理屈だけじゃないんです
それに…
?
女の子同士でだって…
Hネルギー感じる時があってもいいじゃないですか
チャチャちゃんにはあまり使いたくないですけど…
こうするしか無いみたいですね…

Hネルギー解☆放
安心して下さい…痛くはしませんから

ベルカント砲

舞…姫…？
ドサッ

――さん…
大丈夫千夜さん？
ん…
むくっ
あれ…私いつの間に寝てたんだ…？
そうなんです…気がついたら皆こうして倒れてて…
前にもこんなことがあったしちょっと怖いですね．
第6話参照
うーん…なんかすごい夢見てた気が…
そうそうやっぱりあれは夢だよな…！
わ…私も覚えてないですから…

ドキドキ
ど…どうしましょう…皆に服着せてたら逃げ遅れちゃいました…
くんくん
キュ
…ちょッ…今はダメですってルンバちゃんっ…
♡
ペロペロ
ああ〜〜〜〜ッ♡

少年ジャンプ＋特別番外編

脚本：長谷見沙貴

誰かがこう言った――

HEROはHとEROで出来ていると――

そして今日もそんな怪人たちから地球を救うべく

Hネルギーを力にして闘う少年少女がいた――

しかし目立つ巣やったなぁ〜
ホント派手すぎて見つけてほしいみたい
ちゅ…注意しましょう…
ここは敵の内部ですから気を引き締めないと…
桃園 百花
Momoka Momozono
エグゼピンク
天空寺 宙
Sora Tenkuuji
エグゼブルー
白雪 舞姫
Maihime Shirayuki
エグゼホワイト
だけど暗くてよく周りが見えないな…
そりゃあ残念やったな烈人
ニヤ
?
炎城 烈人
Retto Enjou
エグゼレッド

せっかく雲母のサービスショットが拝めるのに勿体ない
!?
ウソつけッ!
だっ 大丈夫 見えてないから…!
星乃 雲母
エグゼイエロー
あ
うわあああああああああああ
きゃあ〜〜〜〜〜っ
や…やっちゃった…

痛て…どこに
落ちたんだ？
暗くて何も…
ンっ…
炎城さん
そんなに強く…
揉まないで
ください…
わわわっ!!
ごめん!
ぱっ

!
!
ぽよんっ
烈人…自分なんかわざとやってへん…？
Hネルギー溜めたいならそう言ってくれればいいのに…
ちっ…違えって！
もうっ…炎城さんってば相変わらずなんですから…
はーーっ

……そういえば星乃さんの姿が見えない気が…
あちゃ〜はぐれてもうたか…
ここからじゃ戻れそうにないな…
もう少し進んで合流できる所を探すか
なんか広いトコに出ちゃったな…
予想通り現れたわねエグゼロス

これが罠とも知らずにね…
それはこっちのセリフだ！
みんな行くぞ!!
ばっ
キセイ蟲
ハニトラ蟲
しーーん
あれ…HXEROSが反応しません！
宙も…なんか落ち着いてきちゃったし…
何やろな　この感じ…Hネルギー一発抜いた後みたいや…
…どうしたんだ…？
みんないつもと様子が…

女子にも賢者タイムってあるんだね…
まさに〝恋人掘った後賢者の意志〟やな
霞だけ食べて生きていたいです
!?
キショショショショッ!!
計画通り効果抜群のようね!
!
貴様らがさっきから嗅いでいるのはとある星で採取した〝ケンジャの花〟の香り
この花の強い鎮静作用にかかれば自慢のHネルギーも発揮できまい

さてと…あの人間たちを縛り上げておけ
というよりこの広い宇宙から見ればこんな争い無意味なのでは?
ってお前もか!?
……それは出来ません
ったく…あれほどケンジャの花の扱いには気をつけろと言ったのに…
さっさとこいつを解毒室に運んでやれ!
……駄目だ…俺も全然Hネルギーを感じない…
はい…
気づいてくれ星乃!
ココに来ちゃ駄目だ――

もう みんなどこ行っちゃったのよ…
でもこの部屋なんだろ…？
!?
ずるっ
キャっ！
すってん
痛ったー
べちょっ
もう！いったい何なのこれ～

なにコレ…!?
身体の奥から
ナニかが溢れて
来る
このままじゃ私
いけないコト
しちゃいそう
ひとまず何かで
エネルギーを
発散しなきゃ
!!!

何だこの爆発は!?
オオオオオオ
!?
雲母!よかった無事やったんか…
ふらふら
…ん?でも何か様子が変やないか…?
!?
ザシュ
ザシュ
違うの炎城…これは私の所為じゃなくて…
へ…?

だから…こういうこと…
ちょっ…
急にどうしたんだよ——!?
ね？わかったでしょ…？
…ああ…けど助かったよ星乃…
?

なるほど…あれが親玉って訳ね…

まさかあの人間…

アドレナの花の蜜を浴びたのか…

あれはケンジャの花が味方に作用した時の解毒用に採取したものなのに…

覚悟しなさい

覚悟しろ

キセイ蟲…！

ゴゴゴゴゴゴ

ちっキショ〜〜〜〜!
うわああああああ
ああああああ
っ!!!

みんな掴まって！
ファサッ
ブシッッ

だ…
大丈夫
皆…？
…ああ
なんとか…
ぬぬっ
でも…
さっきの蜜で
ヌメッて…
ぬる
身体が熱く
なって来た――
トロ～ン
どうすんだよ
コレ～～～ッ!!
ド級編隊エグゼロス 5 (完)

Extra Gallery

番外ギャラリー

ド級編隊エグゼロス セミカラー版

5巻

きただりょうま

初版発行　　　　2018年
デジタル版発行　2019年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。